



平成27年度発掘調査

埋文

さかど年報



坂戸市教育委員会

1 西浦遺跡21区

所在地 坂戸市大字北峰字西浦

調査期間 平成27年4月2日から
平成27年5月8日まで

調査原因 個人住宅建設

調査した遺構と年代

- ・古墳2基(古墳時代後期)
- ・方形周溝墓1基(古墳時代前期)
- ・溝跡1条(中近世)
- ・土坑3基



遺跡位置図



北峰30号墳

西浦遺跡は毛呂台地上に位置し、遺跡の範囲内には北峰古墳群が立地しています。21区では新たに2基の古墳(北峰30・31号墳)が確認されました。30号墳は直径約20mの円墳で円筒埴輪片が少量出土しました。

31号墳は大半が調査区外のため詳細なことは不明ですが、出土遺物から古墳時代後期に築造された古墳である可能性があります。

2 花見塚遺跡13区

所在地 坂戸市大字小山字月木

調査期間 平成27年5月25日から
平成27年6月23日まで

調査原因 個人住宅建設

調査した遺構と年代

- ・竪穴住居跡1軒(古墳時代後期)
- ・道路状遺構1条
- ・土坑5基
- ・ピット5基



遺跡位置図



道路状遺構(黄線の内側が敷石)

今回の調査では、道路状遺構が確認されました。道路状遺構は調査区を東西方向に走行し、幅約2m70cm、長さ約19mの範囲において敷石が確認されました。遺物がほとんど出土しなかったため、時代の特定はできませんが、古墳時代後期の竪穴住居跡を壊していることから、古墳時代以降に作られたものと考えられます。

3 五反田遺跡 6 区

所在地 坂戸市大字小沼字新井

調査期間 平成27年6月15日から
平成27年7月13日まで

調査原因 個人住宅建設

調査した遺構と年代

- ・古墳1基(古墳時代)
- ・土坑4基



遺跡位置図



牛塚山11号墳

今回の調査では古墳1基(牛塚山11号墳)が新たに発見されました。牛塚山11号墳は直径約10mの小型の円墳と思われ、今回は南側周溝1/4程度と、北東側周溝の一部が調査対象となりました。

古墳の中央付近には長方形の土坑状の掘り込みが検出されました。遺物の出土等はありませんが、遺構の位置関係から埋葬施設である可能性も考えられます。

4 宮東遺跡 2 区

所在地 坂戸市大字紺屋字宮西

調査期間 平成27年7月10日から
平成27年7月24日まで

調査原因 個人住宅建設

調査した遺構と年代

- ・竪穴住居跡1軒(古墳時代前期)



遺跡位置図



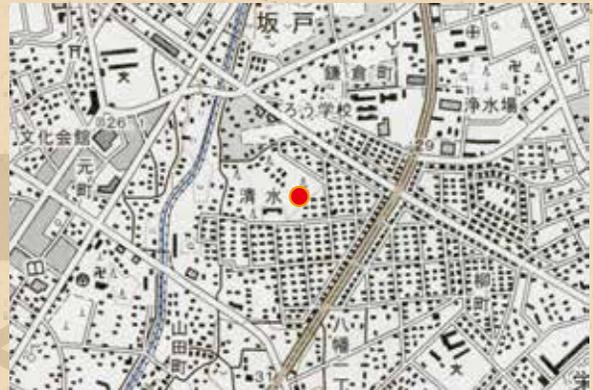
竪穴住居跡

調査によって竪穴住居跡1軒を確認しました。住居は調査区の北と東側に延びているため、今回の調査区内で確認できたのは住居跡全体の1/2程度となりました。住居跡の西壁際で発見された貯蔵穴からは台付甕の破片等が出土していることから、この住居は古墳時代前期のものであると思われます。

貯蔵穴…竪穴住居内にある食料や器物を保管していたと考えられる穴。

5 新山2号墳

所在地 坂戸市清水町
 調査期間 平成27年5月18日から
 平成27年7月21日まで
 調査原因 保存目的
 調査した遺構と年代
 ・古墳1基(古墳時代終末期)



遺跡位置図

新山2号墳は平成25年の宅地造成工事に伴う発掘調査の際に周溝部分が調査対象となり、一辺約50mの大型方墳であることが判明しています。今回は残存する墳丘部分の整備に伴う埋葬施設の確認調査を実施し、横穴式石室を確認しました。石室の大部分は後世の盗掘等によって破壊されていましたが、石室の一部(玄室東側側壁)と床石が残存していました。また、石室内からは鉄釘が3点出土しています。

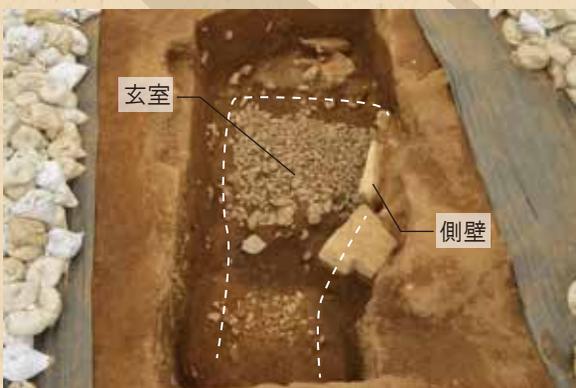
玄室・・・石室の中で遺体を納める場所のこと。



発掘作業風景



新山2号墳全景(平成25年度調査)



検出された石室(点線部分が石室の推定)



出土した鉄釘

8 西浦遺跡22区

所在地 坂戸市大字北峰字西浦
 調査期間 平成27年8月3日から
 平成27年8月11日まで
 調査原因 個人住宅建設
 調査した遺構と年代
 ・ 方形周溝墓1基



遺跡位置図



調査区全景



西浦遺跡22区は、同遺跡21区(1ページ参照)の東隣にあたり、21区で発見された方形周溝墓の続きの部分が検出されました。

調査範囲が狭く、遺物も発見されなかったため、全体像や時期は不明です。

方形周溝墓…弥生時代から古墳時代前期にかけて作られた墓の一形式。中央に遺体を納める土坑を掘り、周りに方形に溝をめぐる。

9 中原遺跡10区

所在地 坂戸市大字堀込字番匠ケ谷戸
 調査期間 平成27年8月3日から
 平成27年8月27日まで
 調査原因 個人住宅建設
 調査した遺構と年代
 ・ 竪穴住居跡2軒(奈良・平安時代)
 ・ 掘立柱建物跡3棟
 ・ 溝跡1条
 ・ 井戸跡1基



遺跡位置図



調査区全景

調査によって竪穴住居跡2軒などを確認しました。出土遺物から住居跡は奈良時代と平安時代のものでしょうか。カマドは北壁と東壁の2か所に確認されました。カマドの依存状態から、2つのカマドは同時に使用されたのではなく、ある段階で付け替えが行われたと思われます。

10 西浦遺跡23区

所在地 坂戸市大字北峰字西浦
 調査期間 平成27年8月17日から
 平成27年9月15日まで
 調査原因 個人住宅建設
 調査した遺構と年代
 ・古墳1基（古墳時代後期）
 ・溝跡3条（中近世）
 ・土坑3基
 ・ピット13基



周溝から出土した円筒埴輪



遺跡位置図

西浦遺跡23区では、新たに発見された古墳1基(北峰32号墳)を調査しました。北峰32号墳は直径約18mの円墳です。特徴としては周溝が西側で約2mほど途切れることや、周溝内の一部にブリッジ状の段差をもっていることがあげられます。

周溝内からは6世紀後半のものと思われる円筒埴輪が出土しました。

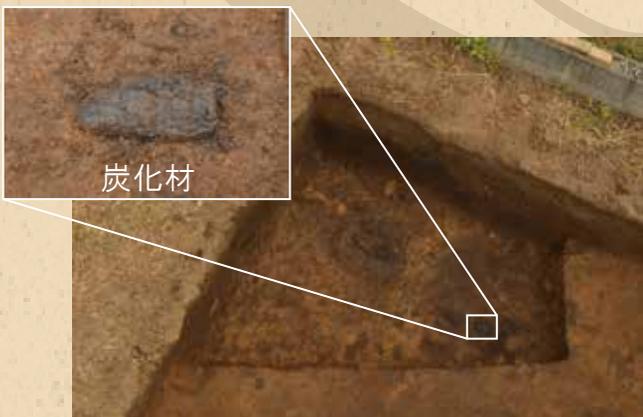
11 内出遺跡8区

所在地 坂戸市大字堀込字村中
 調査期間 平成27年10月1日から
 平成27年10月9日まで
 調査原因 個人住宅建設
 調査した遺構と年代
 ・竪穴住居跡1軒（古墳時代前期）



遺跡位置図

今回の調査では竪穴住居跡1軒を確認しました。この住居跡は内出遺跡7区(平成26年度調査)で検出された住居跡の続きの部分にあたり、今回は南西コーナー部分が調査対象となりました。遺物等の出土は少なかったものの、床面からは炭化した木材が複数発見されました。炭化材の樹種はクスギもしくはコナラ、カヤなどと考えられます。



竪穴住居跡

12 宮東遺跡3区

所在地 坂戸市大字紺屋字宮東
 調査期間 平成27年10月22日から
 平成27年11月11日まで
 調査原因 個人住宅建設
 調査した遺構と年代
 ・ 竪穴住居跡3軒（古墳時代前期）
 ・ 土坑1基



竪穴住居

発掘作業の様子



遺跡位置図

宮東遺跡3区では、竪穴住居跡3軒などの調査を実施しました。3軒の住居跡はいずれも古墳時代前期のものと思われる、そのうち1軒は1辺が5mを超える大型の住居跡でしたが、住居跡の半分以上が調査区外のため全体像を把握することはできませんでした。

※一辺5mの竪穴住居跡の面積は25㎡で、これは畳（江戸間）に換算すると約16畳分に相当します。

13 西浦遺跡24区

所在地 坂戸市大字北峰字西浦
 調査期間 平成27年10月26日から
 平成27年11月25日まで
 調査原因 個人住宅建設
 調査した遺構と年代
 ・ 古墳2基（古墳時代後期）
 ・ 溝跡2条（近世）
 ・ 土坑1基（古墳時代）



西浦32号墳



遺跡位置図

西浦遺跡24区は、同遺跡23区の南隣に位置し、古墳2基（北峰29・32号墳）を調査しました。29号墳は周溝の約1/2を調査し、約14mの円墳であると推定されています。隣接している西浦遺跡20区で出土した須恵器の甕の年代から7世紀代に築造された古墳と考えられます。32号墳では周溝の一部が方形の張り出しを有していました。これは北峰古墳群の一部古墳にみられる特徴の一つです。

14 上谷遺跡13区

所在地 坂戸市大字中小坂
 調査期間 平成27年11月16日から
 平成28年1月15日まで
 調査原因 道路改良工事
 調査した遺構と年代
 ・ 竪穴住居跡1軒（古墳時代前期）
 ・ 溝跡1条
 ・ ピット13基



竪穴住居跡(右下:出土した高坏の脚部)



遺跡位置図

上谷遺跡は坂戸台地の北東部に位置し、縄文時代から平安時代までの生活の痕跡が連続と残る遺跡です。

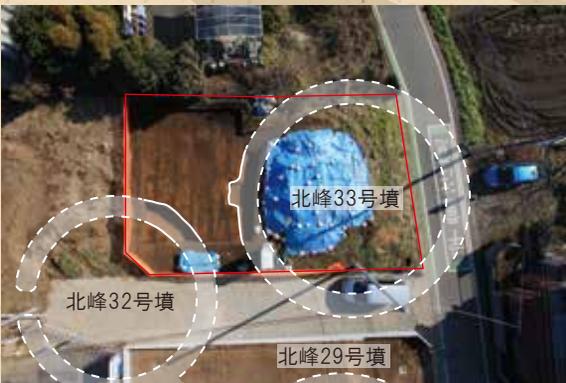
上谷遺跡14区では、竪穴住居跡1軒と溝跡1条の調査をしました。住居跡は古墳時代前期のもので、1辺が約6mありました。住居内からは土師器の高坏や壺などが出土しました。

15 西浦遺跡25区

所在地 坂戸市大字北峰字西浦
 調査期間 平成28年1月6日から
 平成28年2月5日まで
 調査原因 個人住宅建設
 調査した遺構と年代
 ・ 古墳2基（古墳時代後期）
 ・ 土坑4基



遺跡位置図



西浦遺跡25区全景(赤線の内側が25区)

西浦遺跡25区は、同遺跡23・24区に隣接しており、古墳2基(北峰32・33号墳)を調査しました。32号墳は23・24区での調査も踏まえるとおおよそ周溝の3/4を調査したことになります。今回の調査では遺物はほとんど出土しませんでした。33号墳は新規に発見された古墳で、北側に32号墳と同様な四角い張り出し部を持っていることが明らかになりました。

16 善能寺古墳群 2 区

所在地 坂戸市大字善能寺字中山
調査期間 平成27年11月24日から
平成28年1月15日まで
調査原因 宅地造成工事
調査した遺構と年代
・古墳1基(古墳時代後期)



遺跡位置図

善能寺古墳群2区では古墳1基(善能寺16号墳)が調査対象となりました。16号墳は、後世の^{かくらん}攪乱によって破壊を受けていたものの、高さ約0.6mの墳丘が一部残存していました。そのため、今回の調査では墳丘の調査も実施しました。その結果、ローム由来の黄褐色土系の土と黒色土を用いて墳丘が構築されていることが明らかとなりました。

墳丘の周囲には幅1.4m～2mの周溝が全周しており、周溝内からは鉄製の鎌や土師器の壺がほぼ完全な形で出土しました。

出土遺物などから、この古墳の築造された年代は5世紀後半～6世紀前半(およそ1500年前)であると考えられます。



善能寺16号墳墳丘断面



善能寺16号墳全景



周溝から出土した鉄製の鎌



周溝から出土した土師器壺

17 西浦遺跡26区

所在地 坂戸市大字北峰字毛地
 調査期間 平成28年1月25日から
 平成28年2月25日まで
 調査原因 個人住宅建設
 調査した遺構と年代
 ・ 竪穴住居跡4軒（古墳～時代古代）
 ・ 土坑1基（中近世）



遺跡位置図



住居内出土遺物

西浦遺跡26区は、西浦遺跡の南東部に位置しています。

今回の調査では平安時代の竪穴住居跡が4軒確認されました。葛川が調査区のすぐ東側を流れているため、住居の床面には礫層^{れきそう}が露出していました。住居内からは土師器や須恵器が大量に出土しました。

18 宮ノ前遺跡10区

所在地 坂戸市大字片柳
 調査期間 平成28年2月10日から
 平成28年3月2日まで
 調査原因 土地区画整理事業
 調査した遺構と年代
 ・ 竪穴住居跡3軒
 （古墳時代前期2軒、平安時代1軒）
 ・ 溝跡2条
 ・ ピット8基



遺跡位置図



調査区全景

宮ノ前遺跡10区では、竪穴住居跡3軒が検出されました。2軒の竪穴住居跡には炉が設けられており、遺物の出土は少ないものの弥生時代後期から古墳時代前期のものと考えられます。

残る1軒は平面形がやや長方形の住居で出土遺物から平安時代のものと考えられます。

19 花見塚遺跡14区

所在地 坂戸市大字小山字月木

調査期間 平成28年2月18日から

平成28年3月23日まで

調査原因 個人住宅建設

調査した遺構と年代

- ・ 竪穴住居跡3軒（奈良・平安時代）
- ・ 溝跡2条
- ・ 土坑1基



遺跡位置図

花見塚遺跡14区では奈良・平安時代の竪穴住居跡3軒を調査しました。そのうち住居の全体を調査区内で検出することができたのは1軒のみでした。住居跡からは多数の土師器や須恵器が出土し、住居の床下からは鉄製の紡錘車ぼうすいしゃが出土しました。

紡錘車…糸をつむぐ際に用いる道具。石製や土製のものもある。



住居から出土した鉄製紡錘車

20 宮東遺跡4区

所在地 坂戸市大字紺屋字宮西

調査期間 平成28年3月8日から

平成28年4月18日まで

調査原因 個人住宅建設

調査した遺構と年代

- ・ 竪穴住居5軒（古墳時代前期）
- ・ 溝跡1条
- ・ 道路状遺構1条
- ・ 土坑2基



遺跡位置図

宮東遺跡4区では、竪穴住居跡が5軒確認され、そのうち3軒は重複して検出されました。これらは出土遺物からいずれも古墳時代前期のものであると考えられます。

調査区北側で発見された溝は東西方向に走行し、断面形状がV字状のいわゆる「薬研堀やげんぼり」で、出土遺物等から中世に掘削されたものと思われます。



調査区全景